

## 目 次

|       |                         |       |      |
|-------|-------------------------|-------|------|
| 第1    | 審 査 の 種 類               | ..... | 1 頁  |
| 第2    | 審 査 の 対 象               | ..... | 1 頁  |
| 第3    | 審 査 の 実 施 期 間           | ..... | 1 頁  |
| 第4    | 審 査 の 着 眼 点             | ..... | 1 頁  |
| 第5    | 審 査 の 実 施 内 容           | ..... | 1 頁  |
| 第6    | 審 査 の 結 果               | ..... | 1 頁  |
| 1     | 決 算 の 総 括 的 概 要         | ..... | 2 頁  |
| 2     | 会 計 別 決 算 の 概 要         | ..... | 9 頁  |
|       | (1) 一 般 会 計             | ..... | 9 頁  |
|       | (2) 国民健康保険事業特別会計        | ..... | 25 頁 |
|       | (3) 財 産 区 特 別 会 計       | ..... | 28 頁 |
|       | (4) 介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 | ..... | 30 頁 |
|       | (5) 後期高齢者医療事業特別会計       | ..... | 33 頁 |
| 3     | 財 産 に 関 す る 調 書 に つ い て | ..... | 36 頁 |
| む す び | .....                   | ..... | 38 頁 |

### 注 記

1. 文中、表中の金額で、千円単位は千円未満を四捨五入した。そのため、差額又は合計金額が異なる場合がある。
2. 比率%は、小数点以下第2位を四捨五入した。そのため、合計と内訳の計が異なる場合がある。
3. 「0.0」は、該当数値はあるが単位未満のもので、「-」は、該当数値のないものである。

# 令和6年度貝塚市一般会計・特別会計歳入歳出決算

## 及び基金運用状況審査意見

### 第1 審査の種類

決算審査及び基金運用状況審査

### 第2 審査の対象

令和6年度 貝塚市一般会計歳入歳出決算

令和6年度 貝塚市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度 貝塚市財産区特別会計歳入歳出決算

令和6年度 貝塚市介護保険事業特別会計歳入歳出決算

令和6年度 貝塚市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

### 第3 審査の実施期間

令和7年7月7日～令和7年8月8日

### 第4 審査の着眼点

決算審査にあたっては、審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び関係諸表の内容が関係法令等にしがって作成されているか、併せて決算計数の正確性を検証するほか、予算の執行については、適切な手続きを経て適正かつ効率的に行われているかを審査の主眼とした。

基金運用審査にあたっては、基金の運用の状況を示す書類の計数が正確であり、基金の運用が確実かつ効率的に行われているかを審査の主眼とした。

### 第5 審査の実施内容

貝塚市監査基準に準拠し、事業執行関係部局職員から説明を聴取するとともに例月現金出納検査の結果を参考にした。

### 第6 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿と照合審査した結果、正確かつ適正と認められた。また、基金の運用状況についても、適正に運用されているものと認められた。

## 1 決算の総括的概要

令和6年度における一般会計及び各特別会計の決算を総括すると以下のとおりである。

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 歳入決算額       | 57,877,622,476円 |
| 歳出決算額       | 56,413,828,946円 |
| 歳入歳出差引額     | 1,463,793,530円  |
| 翌年度へ繰越すべき財源 | 139,745,100円    |
| 実質収支額       | 1,324,048,430円  |

実質収支は1,324,048,430円の黒字となり、前年度の実質収支1,539,471,866円を差引くと、単年度収支は215,423,436円の赤字となっている。

一般会計及び各特別会計別の内訳は、次表のとおりである。

令和6年度 決算 総括 表

(単位：千円)

| 会計別      | 歳入総額       | 歳出総額       | 歳入歳出<br>差引額 | 翌年度へ繰り<br>越すべき財源 | 実質収支額     |         |
|----------|------------|------------|-------------|------------------|-----------|---------|
| 一般会計     | 37,910,031 | 37,758,607 | 151,425     | 139,745          | 11,679    |         |
| 特別<br>会計 | 国民健康保険事業   | 9,170,602  | 8,862,958   | 307,645          | 0         | 307,645 |
|          | 財産区        | 934,131    | 32,695      | 901,436          | 0         | 901,436 |
|          | 介護保険事業     | 8,356,433  | 8,314,731   | 41,702           | 0         | 41,702  |
|          | 後期高齢者医療事業  | 1,506,425  | 1,444,839   | 61,586           | 0         | 61,586  |
| 合計       | 57,877,622 | 56,413,829 | 1,463,794   | 139,745          | 1,324,048 |         |

決算総額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

歳入決算総額比較表

(単位：千円・%)

| 会計別  |           | 令和6年度      | 令和5年度      | 増減        | 増減率  |
|------|-----------|------------|------------|-----------|------|
| 一般会計 |           | 37,910,031 | 37,140,680 | 769,352   | 2.1  |
| 特別会計 | 国民健康保険事業  | 9,170,602  | 9,286,928  | △116,326  | △1.3 |
|      | 財産区       | 934,131    | 949,576    | △15,445   | △1.6 |
|      | 介護保険事業    | 8,356,433  | 8,056,194  | 300,239   | 3.7  |
|      | 後期高齢者医療事業 | 1,506,425  | 1,395,435  | 110,990   | 8.0  |
| 合計   |           | 57,877,622 | 56,828,812 | 1,048,810 | 1.9  |

歳入決算の総額は57,877,622千円で、前年度と比較すると、国民健康保険事業特別会計で116,326千円(1.3%)、財産区特別会計で15,445千円(1.6%)減少したが、一般会計で769,352千円(2.1%)、介護保険事業特別会計で300,239千円(3.7%)、後期高齢者医療事業特別会計で110,990千円(8.0%)増加したことにより、1,048,810千円(1.9%)の増加となっている。

歳出決算総額比較表

(単位：千円・%)

| 会計別  |           | 令和6年度      | 令和5年度      | 増減        | 増減率  |
|------|-----------|------------|------------|-----------|------|
| 一般会計 |           | 37,758,607 | 36,812,112 | 946,495   | 2.6  |
| 特別会計 | 国民健康保険事業  | 8,862,958  | 8,976,826  | △113,869  | △1.3 |
|      | 財産区       | 32,695     | 28,561     | 4,134     | 14.5 |
|      | 介護保険事業    | 8,314,731  | 8,035,129  | 279,601   | 3.5  |
|      | 後期高齢者医療事業 | 1,444,839  | 1,350,624  | 94,215    | 7.0  |
| 合計   |           | 56,413,829 | 55,203,252 | 1,210,577 | 2.2  |

歳出決算の総額は56,413,829千円で、前年度と比較すると、国民健康保険事業特別会計で113,869千円(1.3%)減少したが、一般会計で946,495千円(2.6%)、財産区特別会計で4,134千円(14.5%)、介護保険事業特別会計で279,601千円(3.5%)、後期高齢者医療事業特別会計で94,215千円(7.0%)増加したことにより、1,210,577千円(2.2%)の増加となっている。

最近3ヵ年の実質収支額及び単年度収支額は、次表のとおりである。

実質収支額・単年度収支額比較表

(単位：千円)

| 会計別      |           | 令和6年度     |            | 令和5年度     |            | 令和4年度     |            |
|----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|
|          |           | 実質<br>収支額 | 単年度<br>収支額 | 実質<br>収支額 | 単年度<br>収支額 | 実質<br>収支額 | 単年度<br>収支額 |
| 一般会計     |           | 11,679    | △230,799   | 242,479   | △218,932   | 461,411   | 305,232    |
| 特別<br>会計 | 国民健康保険事業  | 307,645   | △2,457     | 310,102   | 15,865     | 294,237   | 42,537     |
|          | 財産区       | 901,436   | △19,580    | 921,015   | △15,346    | 936,362   | 25,822     |
|          | 介護保険事業    | 41,702    | 20,638     | 21,064    | △91,517    | 112,582   | △107,107   |
|          | 後期高齢者医療事業 | 61,586    | 16,775     | 44,811    | △22,563    | 67,374    | 32,076     |
| 合計       |           | 1,324,048 | △215,423   | 1,539,472 | △332,494   | 1,871,966 | 298,560    |

令和6年度の実質収支額は1,324,048千円の黒字、単年度収支額は215,423千円の赤字となっている。

最近3ヵ年の不納欠損額は、次表のとおりである。

不納欠損額比較表

(単位：千円)

| 会計別      |           | 令和6年度  | 令和5年度  | 令和4年度  |
|----------|-----------|--------|--------|--------|
| 一般会計     |           | 12,893 | 8,883  | 10,429 |
| 特別<br>会計 | 国民健康保険事業  | 59,862 | 21,627 | 33,083 |
|          | 介護保険事業    | 5,797  | 4,887  | 4,862  |
|          | 後期高齢者医療事業 | 586    | 976    | 728    |
| 計        |           | 79,138 | 36,373 | 49,102 |

不納欠損額は79,138千円で、前年度と比較すると42,765千円の増加となっている。

最近3ヵ年の収入未済額は、次表のとおりである。

収 入 未 済 額 の 状 況

(単位：千円)

| 会 計 別            |           | 令和6年度   | 令和5年度   | 令和4年度   |
|------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 一 般 会 計          |           | 315,383 | 322,915 | 339,494 |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国民健康保険事業  | 483,865 | 523,605 | 577,121 |
|                  | 介護保険事業    | 16,934  | 20,336  | 21,651  |
|                  | 後期高齢者医療事業 | 8,923   | 9,249   | 8,834   |
| 合 計              |           | 825,105 | 876,105 | 947,100 |

収入未済額は825,105千円で、前年度と比較すると50,999千円の減少となっている。  
詳細については、各会計歳入の項で説明する。

最近3ヵ年の起債現在高は、次表のとおりである。

起 債 現 在 高 比 較 表

(単位：千円)

| 会 計 別   | 令和6年度      |            | 令和5年度      |          | 令和4年度      |         |
|---------|------------|------------|------------|----------|------------|---------|
|         | 年度末現在高     | 増減額        | 年度末現在高     | 増減額      | 年度末現在高     | 増減額     |
| 一 般 会 計 | 30,070,420 | △1,661,600 | 31,732,020 | △606,722 | 32,338,742 | 553,601 |

起債現在高は、前年度と比較すると、1,661,600千円減少した。

また、岸和田市貝塚市清掃施設組合の起債現在高は4,865,029千円あり、本市の負担割合は令和6年度では34.56%（1,681,354千円相当）となっている。なお、この負担割合は5年ごとの国勢調査の結果に基づく岸和田市との人口比率等により変動する。

繰越明許費は、次表のとおりである。

令和6年度繰越明許費

(単位：千円)

| 会計別          |     | 事業名               | 翌年度繰越額  | 翌年度繰越財源 |
|--------------|-----|-------------------|---------|---------|
| 一般<br>会<br>計 | 総務費 | 三館等合同施設整備事業       | 2,036   | 2,036   |
|              | 民生費 | 物価高騰対策給付金事業       | 70,640  | 0       |
|              | 民生費 | すくすく子ども館施設等整備事業   | 5,754   | 854     |
|              | 衛生費 | 保健・福祉合同庁舎整備事業     | 42,860  | 6,260   |
|              | 商工費 | 地域ポイントプレミアム事業(臨時) | 33,534  | 0       |
|              | 土木費 | FM推進事業            | 35,200  | 0       |
|              | 土木費 | 南海二色浜駅総合改善事業      | 100,153 | 100,153 |
|              | 消防費 | 備蓄物品整備事業          | 9,445   | 4,723   |
|              | 教育費 | 小学校管理事業(臨時)       | 71,799  | 22,283  |
|              | 教育費 | 中学校管理事業(臨時)       | 1,441   | 121     |
|              | 教育費 | 幼稚園管理事業(臨時)       | 3,769   | 2,465   |
|              | 教育費 | 山手施設整備事業          | 2,750   | 850     |
| 合 計          |     |                   | 379,382 | 139,745 |

令和7年度に繰越して使用する経費は379,382千円で翌年度繰越財源は139,745千円となっている。

普通会計決算の財政分析は、次のとおりである。

ア. 実質収支比率

(単位：千円・%)

| 区 分            | 令和6年度      | 令和5年度      | 令和4年度      |
|----------------|------------|------------|------------|
| 標準財政規模 A       | 19,798,160 | 19,345,298 | 18,978,214 |
| 実質収支額 B        | 11,679     | 242,479    | 461,411    |
| 実質収支比率 B/A×100 | 0.1        | 1.3        | 2.4        |

実質収支比率は、地方公共団体の標準財政規模の額に対する実質収支額の割合を表した指標である。

本年度の実質収支比率は0.1%で、前年度と比較すると1.2ポイント悪化している。

イ. 公債費負担比率

(単位：%)

| 区 分     | 令和6年度 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 公債費負担比率 | 11.6  | 11.4  | 11.5  |

公債費負担比率は、地方公共団体の一般財源総額に占める公債費の比率で、財政運営の硬直化の高まりを示す指標である。一般的には、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。

本年度の公債費負担比率は、11.6%で、前年度と比較すると0.2ポイント悪化している。

ウ. 財政力指数

(単位：千円)

| 区 分       | 令和6年度      | 令和5年度      | 令和4年度      |
|-----------|------------|------------|------------|
| 基準財政需要額 A | 16,933,685 | 16,414,789 | 15,892,136 |
| 基準財政収入額 B | 10,414,705 | 10,376,178 | 10,112,457 |
| 財政力指数 B/A | 0.63       | 0.63       | 0.65       |

※ 財政力指数は3ヵ年平均の数値である。

財政力指数は、財政力を示す指標で、この指数が「1」に近いほど財政力が強いと見ることができる。「1」を超えれば、普通交付税の不交付団体となり、超えた分だけ通常水準を超えた行政活動を行うことが可能となり、余裕財源を保有していることになる。

本年度の財政力指数は0.63で、前年度と同様となっている。

エ. 経常収支比率

(単位：千円・%)

| 区 分                             | 令和6年度      | 令和5年度      | 令和4年度      |
|---------------------------------|------------|------------|------------|
| 経常一般財源 A                        | 20,405,967 | 19,396,034 | 19,133,610 |
| 臨時財政対策債・減収補填債特例分 B              | 83,820     | 72,951     | 380,244    |
| 経常経費充当一般財源 C                    | 20,296,106 | 19,158,240 | 18,560,023 |
| 経常収支比率 $C / (A + B) \times 100$ | 99.1       | 98.4       | 95.1       |

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が高いほど経常余剰財源が少なく、財政の硬直化が進んでいると言える。一般的には75%程度におさまることが妥当と考えられ、これが80%を超える場合には、その財政構造は弾力性を失いつつあると考えられている。本年度の経常収支比率は99.1%で、前年度と比較すると0.7ポイント悪化している。

## 2 会計別決算の概要

### (1) 一般会計

本年度の歳入歳出決算額は、

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 歳入決算額       | 37,910,031,283円 |
| 歳出決算額       | 37,758,606,684円 |
| 歳入歳出差引額     | 151,424,599円    |
| 翌年度へ繰越すべき財源 | 139,745,100円    |
| 実質収支額       | 11,679,499円     |

で、実質収支は11,679,499円の黒字となっている。

次に、単年度収支を見ると、本年度実質収支額11,679,499円から前年度実質収支額242,478,705円を差引くと230,799,206円の赤字となっている。

最近3ヵ年の決算状況は、次表のとおりである。

決算状況比較表

(単位：千円)

| 区 分          | 令和6年度      | 令和5年度      | 令和4年度      |
|--------------|------------|------------|------------|
| 歳入総額         | 37,910,031 | 37,140,680 | 38,162,878 |
| 歳出総額         | 37,758,607 | 36,812,112 | 37,675,218 |
| 歳入歳出差引額      | 151,425    | 328,568    | 487,659    |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 139,745    | 86,089     | 26,248     |
| 実質収支額        | 11,679     | 242,479    | 461,411    |
| 単年度収支額       | △230,799   | △218,932   | 305,232    |

#### ア 歳入

本年度の歳入決算状況は、

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 予算現額  | 40,669,489,129円 |
| 調定額   | 38,238,306,944円 |
| 収入済額  | 37,910,031,283円 |
| 不納欠損額 | 12,892,557円     |
| 収入未済額 | 315,383,104円    |

で、収入済額は前年度に比べ769,352千円(2.1%)の増加となっている。

不納欠損額は、諸収入で557千円減少したが、市税で2,569千円、使用料及び手数料で1,964千円増加しており、前年度に比べ4,009千円(45.1%)の増加となっている。

収入未済額は、諸収入で 5,916 千円増加したが、市税で 11,663 千円、使用料及び手数料で 1,830 千円減少したことにより、前年度に比べ 7,531 千円（2.3%）の減少となっている。

予算現額に対する執行比率は 93.2%で前年度に比べ 0.9%の上昇、また対調定比率は 99.1%で前年度同様となっている。

款別歳入決算額は、次表のとおりである。

### 款別歳入決算額比較表

（単位：千円・%）

| 区 分                      | 令和 6 年度    |       | 令和 5 年度    |       | 増減額      | 増減率    |
|--------------------------|------------|-------|------------|-------|----------|--------|
|                          | 決算額        | 構成比   | 決算額        | 構成比   |          |        |
| 1 市 税                    | 11,373,282 | 30.0  | 11,445,284 | 30.8  | △72,002  | △0.6   |
| 2 地 方 譲 与 税              | 181,266    | 0.5   | 180,087    | 0.5   | 1,179    | 0.7    |
| 3 利 子 割 交 付 金            | 11,772     | 0.0   | 9,545      | 0.0   | 2,227    | 23.3   |
| 4 配 当 割 交 付 金            | 130,135    | 0.3   | 95,287     | 0.3   | 34,848   | 36.6   |
| 5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金  | 170,693    | 0.5   | 102,316    | 0.3   | 68,377   | 66.8   |
| 6 法 人 事 業 税 交 付 金        | 239,416    | 0.6   | 219,475    | 0.6   | 19,941   | 9.1    |
| 7 地 方 消 費 税 交 付 金        | 2,028,649  | 5.4   | 1,931,351  | 5.2   | 97,298   | 5.0    |
| 8 環 境 性 能 割 交 付 金        | 48,601     | 0.1   | 46,973     | 0.1   | 1,628    | 3.5    |
| 9 地 方 特 例 交 付 金          | 434,644    | 1.2   | 78,217     | 0.2   | 356,427  | 455.7  |
| 10 地 方 交 付 税             | 6,940,580  | 18.3  | 6,436,459  | 17.3  | 504,121  | 7.8    |
| 11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 10,898     | 0.0   | 11,615     | 0.0   | △717     | △6.2   |
| 12 分 担 金 及 び 負 担 金       | 119,223    | 0.3   | 123,163    | 0.3   | △3,940   | △3.2   |
| 13 使 用 料 及 び 手 数 料       | 377,005    | 1.0   | 382,657    | 1.0   | △5,652   | △1.5   |
| 14 国 庫 支 出 金             | 9,010,685  | 23.8  | 8,632,450  | 23.2  | 378,235  | 4.4    |
| 15 府 支 出 金               | 3,106,650  | 8.2   | 2,884,012  | 7.8   | 222,637  | 7.7    |
| 16 財 産 収 入               | 36,220     | 0.1   | 31,102     | 0.1   | 5,118    | 16.5   |
| 17 寄 附 金                 | 744,738    | 2.0   | 601,611    | 1.6   | 143,127  | 23.8   |
| 18 繰 入 金                 | 768,792    | 2.0   | 695,204    | 1.9   | 73,587   | 10.6   |
| 19 繰 越 金                 | 328,568    | 0.9   | 487,659    | 1.3   | △159,092 | △32.6  |
| 20 諸 収 入                 | 842,795    | 2.2   | 832,823    | 2.2   | 9,973    | 1.2    |
| 21 市 債                   | 1,005,420  | 2.7   | 1,911,251  | 5.1   | △905,831 | △47.4  |
| 22 自 動 車 取 得 税 交 付 金     | 0          | 0.0   | 2,137      | 0.0   | △2,137   | △100.0 |
| 合 計                      | 37,910,031 | 100.0 | 37,140,680 | 100.0 | 769,352  | 2.1    |

前年度と比較すると、岸和田市貝塚市斎場施設整備事業債の減少などにより市債が大きく減少している。歳入全体としては、市税、繰越金、市債などが減少したものの、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、寄附金などが増加している。

市税の歳入決算額に占める割合は 30.0%で、前年度と比較すると 0.8 ポイント減少している。

各款別の決算状況は、次のとおりである。

### 第1款 市税

(単位：千円・%)

| 予算現額       | 調定額        | 収入済額       | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 11,319,793 | 11,527,512 | 11,373,282 | 10,782    | 143,448   | 100.5     | 98.7      |

収入済額は11,373,282千円で、前年度と比較すると、固定資産税が33,967千円増加したものの、市民税が93,391千円、市たばこ税が15,153千円減少したことなどから、72,002千円(0.6%)の減少となっている。

不納欠損額は10,782千円で、前年度と比較すると2,569千円(31.3%)の増加となっている。

収入未済額は143,448千円で、前年度と比較すると11,662千円(7.5%)の減少となっている。

市税の税目別決算額は、次表のとおりである。

### 市税税目別歳入決算額比較表

(単位：千円・%)

| 税目別   | 令和6年度      |           | 令和5年度      |           | 増減額     | 増減率      |      |
|-------|------------|-----------|------------|-----------|---------|----------|------|
|       | 決算額        | 構成比       | 決算額        | 構成比       |         |          |      |
| 市民税   | 4,585,732  | 40.3      | 4,679,123  | 40.9      | △93,391 | △2.0     |      |
| 内訳    | 個人         | 3,844,638 | 33.8       | 4,067,053 | 35.5    | △222,415 | △5.5 |
|       | 法人         | 741,094   | 6.5        | 612,070   | 5.4     | 129,024  | 21.0 |
| 固定資産税 | 4,964,630  | 43.7      | 4,930,664  | 43.1      | 33,967  | 0.7      |      |
| 軽自動車税 | 249,596    | 2.2       | 240,133    | 2.1       | 9,464   | 3.9      |      |
| 市たばこ税 | 694,070    | 6.1       | 709,223    | 6.2       | △15,153 | △2.1     |      |
| 都市計画税 | 878,019    | 7.7       | 885,003    | 7.7       | △6,984  | △0.8     |      |
| 入湯税   | 1,234      | 0.0       | 1,138      | 0.0       | 96      | 8.5      |      |
| 合計    | 11,373,282 | 100.0     | 11,445,284 | 100.0     | △72,002 | △0.6     |      |

## 第2款 地方譲与税

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 191,112 | 181,266 | 181,266 | 0         | 0         | 94.9      | 100.0     |

収入済額は181,266千円で、前年度と比較すると、森林環境譲与税が1,961千円増加したことなどにより、1,179千円(0.7%)の増加となっている。

## 第3款 利子割交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額  | 調定額    | 収入済額   | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 8,700 | 11,772 | 11,772 | 0         | 0         | 135.3     | 100.0     |

収入済額は11,772千円で、前年度と比較すると2,227千円(23.3%)の増加となっている。

## 第4款 配当割交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|--------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 77,000 | 130,135 | 130,135 | 0         | 0         | 169.0     | 100.0     |

収入済額は130,135千円で、前年度と比較すると34,848千円(36.6%)の増加となっている。

## 第5款 株式等譲渡所得割交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|--------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 65,000 | 170,693 | 170,693 | 0         | 0         | 262.6     | 100.0     |

収入済額は170,693千円で、前年度と比較すると68,377千円(66.8%)の増加となっている。

第6款 法人事業税交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 235,000 | 239,416 | 239,416 | 0         | 0         | 101.9     | 100.0     |

収入済額は239,416千円で、前年度と比較すると19,941千円(9.1%)の増加となっている。

第7款 地方消費税交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額       | 収入済額      | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2,010,000 | 2,028,649 | 2,028,649 | 0         | 0         | 100.9     | 100.0     |

収入済額は2,028,649千円で、前年度と比較すると97,298千円(5.0%)の増加となっている。

第8款 環境性能割交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 調定額    | 収入済額   | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 66,000 | 48,601 | 48,601 | 0         | 0         | 73.6      | 100.0     |

収入済額は48,601千円で、前年度と比較すると1,628千円(3.5%)の増加となっている。

第9款 地方特例交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 437,910 | 434,644 | 434,644 | 0         | 0         | 99.3      | 100.0     |

収入済額は434,644千円で、前年度と比較すると356,427千円(455.7%)の増加となっている。

第10款 地方交付税

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額       | 収入済額      | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 6,909,803 | 6,940,580 | 6,940,580 | 0         | 0         | 100.5     | 100.0     |

収入済額は6,940,580千円で、前年度と比較すると504,121千円(7.8%)の増加となっている。

第11款 交通安全対策特別交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 調定額    | 収入済額   | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 11,310 | 10,898 | 10,898 | 0         | 0         | 96.4      | 100.0     |

収入済額は10,898千円で、前年度と比較すると717千円(6.2%)の減少となっている。

第12款 分担金及び負担金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 116,362 | 120,732 | 119,223 | 34        | 1,476     | 102.5     | 98.8      |

収入済額は119,223千円で、前年度と比較すると3,940千円(3.2%)の減少となっている。

不納欠損額は34千円で、前年度と比較すると34千円の皆増となっている。

収入未済額は1,476千円で、前年度と比較すると223千円(13.1%)の減少となっている。

第13款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 393,916 | 426,332 | 377,005 | 1,964     | 47,364    | 95.7      | 88.4      |

収入済額は377,005千円で、前年度と比較すると5,652千円(1.5%)の減少となっている。

不納欠損額は1,964千円で、前年度と比較すると1,964千円の皆増となっている。

収入未済額は47,364千円で、前年度と比較すると1,829千円(3.7%)の減少となっている。

第14款 国庫支出金

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額       | 収入済額      | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 9,584,593 | 9,010,685 | 9,010,685 | 0         | 0         | 94.0      | 100.0     |

収入済額は9,010,685千円で、前年度と比較すると378,235千円(4.4%)の増加となっている。

第15款 府支出金

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額       | 収入済額      | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 3,195,741 | 3,106,650 | 3,106,650 | 0         | 0         | 97.2      | 100.0     |

収入済額は3,106,650千円で、前年度と比較すると222,637千円(7.7%)の増加となっている。

第16款 財産収入

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 調定額    | 収入済額   | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|--------|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 38,786 | 36,644 | 36,220 | 0         | 424       | 93.4      | 98.8      |

収入済額は36,220千円で、前年度と比較すると5,118千円(16.5%)の増加となっている。

収入未済額は424千円で、前年度と比較すると269千円(173.6%)の増加となっている。

第17款 寄附金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 764,205 | 744,738 | 744,738 | 0         | 0         | 97.5      | 100.0     |

収入済額は744,738千円で、前年度と比較すると143,127千円(23.8%)の増加となっている。

第18款 繰入金

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2,496,600 | 768,792 | 768,792 | 0         | 0         | 30.8      | 100.0     |

収入済額は768,792千円で、前年度と比較すると73,587千円(10.6%)の増加となっている。

第19款 繰越金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 328,567 | 328,568 | 328,568 | 0         | 0         | 100.0     | 100.0     |

収入済額は328,568千円で、前年度と比較すると159,092千円(32.6%)の減少となっている。

第20款 諸収入

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 調定額     | 収入済額    | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 868,713 | 965,581 | 842,795 | 113       | 122,672   | 97.0      | 87.3      |

収入済額は842,795千円で、前年度と比較すると、収益事業収入が87,474千円、延滞金加算金及び過料が3,457千円減少したが、市預金利子が4,056千円、雑入が99,669千円増加したことにより、9,973千円(1.2%)の増加となっている。

不納欠損額は113千円で、前年度と比較すると557千円(83.1%)の減少となっている。

収入未済額は122,672千円で、前年度と比較すると5,916千円(5.1%)の増加となっている。主なものは、奨学資金貸付金返還金が8,653千円、生活保護費などの返納金・返還金が112,361千円などである。

第 21 款 市債

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 調定額       | 収入済額      | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1,550,378 | 1,005,420 | 1,005,420 | 0         | 0         | 64.9      | 100.0     |

収入済額は 1,005,420 千円で、前年度と比較すると 905,831 千円 (47.4%) の減少となっている。

第 22 款 自動車取得税交付金

(単位：千円・%)

| 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納<br>欠損額 | 収入<br>未済額 | 対予算<br>比率 | 対調定<br>比率 |
|------|-----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 0    | 0   | 0    | 0         | 0         | —         | —         |

収入済額は 0 千円で、前年度と比較すると 2,137 千円の皆減となっている。

財源別歳入決算額は、次表のとおりである。

財 源 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位：千円・%)

| 財 源 別 |                            | 令和6年度      |      |            | 令和5年度      |      |       |
|-------|----------------------------|------------|------|------------|------------|------|-------|
|       |                            | 決算額        | 構成比  | 増減率        | 決算額        | 構成比  | 増減率   |
| 自主財源  | 市 税                        | 11,373,282 | 30.0 | △ 0.6      | 11,445,284 | 30.8 | △0.4  |
|       | 分 担 金 及 び<br>負 担 金 ・ 寄 附 金 | 801,988    | 2.1  | 24.5       | 644,170    | 1.7  | △8.9  |
|       | 使用料及び手数料                   | 455,468    | 1.2  | △2.0       | 464,780    | 1.3  | 0.6   |
|       | 財 産 収 入                    | 36,220     | 0.1  | 16.5       | 31,102     | 0.1  | △31.7 |
|       | 繰 入 金                      | 768,790    | 2.0  | 10.6       | 695,203    | 1.9  | △11.0 |
|       | 繰 越 金                      | 328,568    | 0.9  | △32.6      | 487,659    | 1.3  | 100.6 |
|       | 諸 収 入                      | 826,306    | 2.2  | △0.6       | 831,307    | 2.2  | 18.2  |
|       | 計                          | 14,590,622 | 38.5 | △0.1       | 14,599,505 | 39.3 | 1.1   |
| 依存財源  | 地 方 譲 与 税                  | 181,266    | 0.5  | 0.7        | 180,087    | 0.5  | 1.0   |
|       | 利 子 割 交 付 金                | 11,772     | 0.0  | 23.33      | 9,545      | 0.0  | △6.9  |
|       | 配 当 割 交 付 金                | 130,135    | 0.3  | 36.6       | 95,287     | 0.3  | 11.4  |
|       | 株 式 等 譲 渡 所 得 割<br>交 付 金   | 170,693    | 0.5  | 66.8       | 102,316    | 0.3  | 67.4  |
|       | 地 方 消 費 税 交 付 金            | 2,028,649  | 5.4  | 5.0        | 1,931,351  | 5.2  | △0.9  |
|       | 軽油引取税・自動<br>車取得税交付金        | 0          | —    | —          | 2,137      | 0.0  | 66.0  |
|       | 自動車環境性能割交付金                | 48,601     | 0.1  | 3.5        | 46,973     | 0.1  | 22.0  |
|       | 法 人 事 業 税 交 付 金            | 239,416    | 0.6  | 9.1        | 219,475    | 0.6  | 19.8  |
|       | 地 方 特 例 交 付 金              | 434,644    | 1.1  | 455.7      | 78,217     | 0.2  | △8.3  |
|       | 地 方 交 付 税                  | 6,940,580  | 18.3 | 7.8        | 6,436,459  | 17.3 | 4.0   |
|       | 交通安全対策特別交付金                | 10,898     | 0.0  | △6.2       | 11,615     | 0.0  | △9.4  |
|       | 国 庫 支 出 金                  | 9,048,132  | 23.9 | 4.9        | 8,625,776  | 23.2 | △3.5  |
|       | 府 支 出 金                    | 3,069,203  | 8.1  | 6.2        | 2,890,686  | 7.8  | △2.5  |
|       | 市 債                        | 1,005,420  | 2.7  | △ 47.4     | 1,911,251  | 5.2  | △36.8 |
| 計     | 23,319,409                 | 61.5       | 3.5  | 22,541,175 | 60.7       | △5.0 |       |
| 合 計   | 37,910,031                 | 100.0      | 2.1  | 37,140,680 | 100.0      | △2.7 |       |

※ 財源別歳入決算額は、地方財政状況調査に準拠して作成しているため、款別歳入決算額と内訳の数値は一部相違する。

自主財源は14,590,622千円で、前年度と比較すると8,883千円(0.1%)減少し、収入全体の38.5%となっている。これは、分担金及び負担金・寄附金、財産収入、繰入金が増加したものの、市税、繰越金などが減少したことによるものである。

依存財源は23,319,409千円で、前年度と比較すると778,234千円(3.5%)増加となっている。これは、地方交付税、国庫支出金が増加したことによるものである。

イ 歳出

本年度の歳出決算状況は、

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 予算現額   | 40,669,489,129円 |
| 支出済額   | 37,758,606,684円 |
| 翌年度繰越額 | 379,381,538円    |
| 不用額    | 2,531,500,907円  |

で、支出済額は、前年度と比較すると946,495千円(2.6%)増加となっている。

予算現額に対する執行比率は92.8%で、前年度と比較すると1.3ポイント増加している。

款別歳出決算額は、次表のとおりである。

款別歳出決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区分       | 令和6年度      |       | 令和5年度      |       | 増減額       | 増減率   |
|----------|------------|-------|------------|-------|-----------|-------|
|          | 決算額        | 構成比   | 決算額        | 構成比   |           |       |
| 1 議会費    | 246,725    | 0.7   | 240,139    | 0.7   | 6,586     | 2.7   |
| 2 総務費    | 5,150,974  | 13.6  | 4,124,121  | 11.2  | 1,026,852 | 24.9  |
| 3 民生費    | 18,987,450 | 50.3  | 17,828,522 | 48.4  | 1,158,927 | 6.5   |
| 4 衛生費    | 3,040,120  | 8.1   | 3,910,700  | 10.6  | △870,580  | △22.3 |
| 5 労働費    | 13,966     | 0.0   | 19,088     | 0.1   | △5,123    | △26.8 |
| 6 農林水産業費 | 200,795    | 0.5   | 242,193    | 0.7   | △41,397   | △17.1 |
| 7 商工費    | 366,101    | 1.0   | 488,313    | 1.3   | △122,212  | △25.0 |
| 8 土木費    | 2,689,882  | 7.1   | 3,128,872  | 8.5   | △438,991  | △14.0 |
| 9 消防費    | 1,158,644  | 3.1   | 1,177,107  | 3.2   | △18,463   | △1.6  |
| 10 教育費   | 2,818,612  | 7.5   | 2,749,486  | 7.5   | 69,125    | 2.5   |
| 11 公債費   | 2,822,415  | 7.5   | 2,667,256  | 7.2   | 155,160   | 5.8   |
| 12 諸支出金  | 262,923    | 0.7   | 236,313    | 0.6   | 26,610    | 11.3  |
| 13 予備費   | 0          | —     | 0          | —     | 0         | —     |
| 合計       | 37,758,607 | 100.0 | 36,812,112 | 100.0 | 946,495   | 2.6   |

前年度と比較すると、衛生費、商工費、土木費などが減少しているが、総務費、民生費、公債費などが増加している。

各款別の決算状況は、次のとおりである。

## 第1款 議会費

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 支出済額    | 翌年度繰越額 | 不用額   | 執行率  |
|---------|---------|--------|-------|------|
| 255,788 | 246,725 | 0      | 9,063 | 96.5 |

支出済額は246,725千円で、前年度と比較すると、職員人件費事業が1,789千円、議員人件費事業が5,907千円増加したことなどにより、前年度より6,586千円(2.7%)の増加となっている。

## 第2款 総務費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額     | 執行率  |
|-----------|-----------|--------|---------|------|
| 5,398,743 | 5,150,974 | 2,036  | 245,733 | 95.5 |

支出済額は5,150,974千円で、前年度と比較すると、総務管理費が422,751千円、徴税費が599,648千円増加したことなどにより1,026,852千円(24.9%)の増加となっている。

翌年度繰越額2,036千円は、三館等合同施設整備事業(2,036千円)の繰越明許費である。

不用額245,733千円の主なものは、ふるさと応援基金積立事業(20,788千円)、ふるさと納税事業(28,281千円)、定額減税補足給付金事業(42,634千円)などである。

## 第3款 民生費

(単位：千円・%)

| 予算現額       | 支出済額       | 翌年度繰越額 | 不用額     | 執行率  |
|------------|------------|--------|---------|------|
| 20,040,849 | 18,987,450 | 76,394 | 977,005 | 95.1 |

支出済額は18,987,450千円で、前年度と比較すると、児童福祉費が985,911千円、生活保護費が217,915千円増加したことなどにより1,158,927千円(6.5%)の増加となっている。

翌年度繰越額76,394千円は、物価高騰対策給付金事業(70,640千円)、すくすく子ども館施設等整備事業(5,754千円)の繰越明許費である。

不用額977,005千円の主なものは、住民税非課税世帯支援給付金事業(追加支給分)(繰越明許)(105,243千円)、低所得世帯支援給付金事業(141,943千円)、児童手当給付事業(80,477千円)などである。

#### 第4款 衛生費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額     | 執行率  |
|-----------|-----------|--------|---------|------|
| 3,528,106 | 3,040,120 | 42,860 | 445,126 | 87.4 |

支出済額は3,040,120千円で、前年度と比較すると、清掃費が121,365千円増加したものの、保健衛生費が984,969千円減少したことなどにより、870,580千円(22.3%)の減少となっている。

翌年度繰越額42,860千円は、保健・福祉合同庁舎整備事業(42,860千円)の繰越明許費である。

不用額445,126千円の主なものは、予防接種事業(127,812千円)、岸和田市貝塚市清掃施設組合負担金事業(230,205千円)などである。

#### 第5款 労働費

(単位：千円・%)

| 予算現額   | 支出済額   | 翌年度繰越額 | 不用額   | 執行率  |
|--------|--------|--------|-------|------|
| 21,205 | 13,966 | 0      | 7,239 | 65.9 |

支出済額は13,966千円で、前年度と比較すると5,123千円(26.8%)の減少となっている。

#### 第6款 農林水産業費

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 支出済額    | 翌年度繰越額 | 不用額    | 執行率  |
|---------|---------|--------|--------|------|
| 234,224 | 200,795 | 0      | 33,429 | 85.7 |

支出済額は200,795千円で、前年度と比較すると、農業費が50,373千円減少したことなどにより、41,397千円(17.1%)の減少となっている。

不用額33,429千円の主なものは、新規就農総合支援事業(18,150千円)などである。

## 第7款 商工費

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 支出済額    | 翌年度繰越額 | 不用額   | 執行率  |
|---------|---------|--------|-------|------|
| 408,272 | 366,101 | 33,534 | 8,637 | 97.9 |

支出済額は366,101千円で、前年度と比較すると、プレミアム商品券市民配布事業が200,208千円の皆減となったことなどにより、122,212千円(25.0%)の減少となっている。

翌年度繰越額33,534千円は、地域ポイントプレミアム事業(臨時)(33,534千円)の繰越明許費である。

不用額8,637千円の主なものは、中小企業支援事業(2,149千円)、企業誘致推進事業(2,180千円)などである。

## 第8款 土木費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額  | 不用額     | 執行率  |
|-----------|-----------|---------|---------|------|
| 3,271,495 | 2,689,882 | 135,353 | 446,260 | 86.4 |

支出済額は2,689,882千円で、前年度と比較すると、道路橋梁費が373,084千円、都市計画費が45,876千円減少したことなどにより、438,991千円(14.0%)の減少となっている。

翌年度繰越額135,353千円は、FM推進事業(35,200千円)、南海二色浜駅総合改善事業(100,153千円)の繰越明許費である。

不用額446,260千円の主なものは、二色浜駅前広場等整備事業(163,377千円)、橋梁新設改良事業(73,065千円)などである。

## 第9款 消防費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額    | 執行率  |
|-----------|-----------|--------|--------|------|
| 1,245,530 | 1,158,644 | 9,445  | 77,441 | 93.8 |

支出済額は1,158,644千円で、前年度と比較すると、消防施設費が36,111千円増加したものの、災害対策費が61,062千円減少したことなどにより、18,463千円(1.6%)の減少となっている。

翌年度繰越額9,445千円は、備蓄物品整備事業(9,445千円)の繰越明許費である。

不用額77,441千円の主なものは、職員人件費事業(17,251千円)、消防団施設整備事業(20,017千円)などである。

## 第10款 教育費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額     | 執行率  |
|-----------|-----------|--------|---------|------|
| 3,161,013 | 2,818,612 | 79,759 | 262,642 | 91.7 |

支出済額は2,818,612千円で、前年度と比較すると、小学校費が54,715千円、幼稚園費が82,328千円減少したが、社会教育費が48,207千円、保健体育費が115,721千円増加したことなどにより、69,125千円(2.5%)の増加となっている。

翌年度繰越額79,759千円は、小学校管理事業(臨時)(71,799千円)、中学校管理事業(臨時)(1,441千円)、幼稚園管理事業(臨時)(3,769千円)、山手施設整備事業(2,750千円)の繰越明許費である。

不用額262,642千円の主なものは、幼稚園支援事業(31,558千円)、体育施設整備事業(投資)(25,304千円)などである。

## 第11款 公債費

(単位：千円・%)

| 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額   | 執行率  |
|-----------|-----------|--------|-------|------|
| 2,830,159 | 2,822,415 | 0      | 7,744 | 99.7 |

支出済額は2,822,415千円で、前年度と比較すると、155,160千円(5.8%)の増加となっている。

## 第12款 諸支出金

(単位：千円・%)

| 予算現額    | 支出済額    | 翌年度繰越額 | 不用額   | 執行率  |
|---------|---------|--------|-------|------|
| 264,415 | 262,923 | 0      | 1,492 | 99.4 |

支出済額は262,923千円で、前年度と比較すると、財政調整基金積立事業が109,000千円減少したが、減債基金積立事業が131,212千円増加したことなどにより、26,610千円(11.3%)の増加となっている。

第13款 予備費

(単位：千円・%)

| 予算額   | 充当額 | 翌年度繰越額 | 不用額   | 充当率 |
|-------|-----|--------|-------|-----|
| 9,691 | 0   | 0      | 9,691 | —   |

予備費の充当はなかった。

性質別歳出決算額の状況は、次表のとおりである。

性質別歳出決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分    |             | 令和6年度      |            | 令和5年度      |         | 増減額       | 増減率   |
|--------|-------------|------------|------------|------------|---------|-----------|-------|
|        |             | 決算額        | 構成比        | 決算額        | 構成比     |           |       |
| 義務的経費  | 人件費         | 6,753,670  | 17.9       | 6,188,310  | 16.8    | 565,360   | 9.1   |
|        | 扶助費         | 11,770,252 | 31.2       | 12,174,923 | 33.1    | △404,671  | △3.3  |
|        | 公債費         | 2,822,415  | 7.5        | 2,667,256  | 7.2     | 155,159   | 5.8   |
|        | 計           | 21,346,337 | 56.6       | 21,030,489 | 57.1    | 315,848   | 1.5   |
| 投資的経費  | 普通建設事業費     | 1,827,487  | 4.8        | 2,714,853  | 7.4     | △887,366  | △32.7 |
|        | 災害復旧事業費     | 0          | —          | 0          | —       | 0         | —     |
|        | 計           | 1,827,487  | 4.8        | 2,714,853  | 7.4     | △887,366  | △32.7 |
| その他の経費 | 物件費         | 4,075,443  | 10.8       | 4,018,984  | 10.9    | 56,459    | 1.4   |
|        | 維持補修費       | 313,272    | 0.8        | 315,825    | 0.9     | △2,553    | △0.8  |
|        | 補助費等        | 5,326,785  | 14.1       | 3,983,870  | 10.8    | 1,342,915 | 33.7  |
|        | 積立金         | 1,007,639  | 2.7        | 925,665    | 2.5     | 81,974    | 8.9   |
|        | 投資及び出資金・貸付金 | 120,400    | 0.3        | 119,190    | 0.3     | 1,210     | 1.0   |
|        | 繰出金         | 3,741,244  | 9.9        | 3,703,236  | 10.1    | 38,008    | 1.0   |
|        | 計           | 14,584,783 | 38.6       | 13,066,770 | 35.5    | 1,518,013 | 11.6  |
| 合計     | 37,758,607  | 100.0      | 36,812,112 | 100.0      | 946,495 | 2.6       |       |

義務的経費は21,346,337千円で、前年度と比較すると、扶助費が404,671千円減少したものの、人件費が565,360千円、公債費が155,159千円増加し、315,848千円(1.5%)の増加となっている。歳出決算額に占める割合は56.6%で、前年と比較すると0.5ポイント減少している。

投資的経費は1,827,487千円で、前年度と比較すると887,366千円(32.7%)の減少となっている。

その他の経費は14,584,783千円で、前年度と比較すると、維持補修費が微減となったものの、補助費等が大幅に増加したことなどにより1,518,013千円(11.6%)の増加となっている。

## (2) 国民健康保険事業特別会計

本年度の歳入歳出決算額は、

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 予 算 現 額     | 10,076,658,000円 |
| 歳 入 決 算 額   | 9,170,602,491円  |
| 歳 出 決 算 額   | 8,862,957,590円  |
| 歳入歳出差引額     | 307,644,901円    |
| 翌年度へ繰越すべき財源 | 0円              |
| 実 質 収 支 額   | 307,644,901円    |

で、実質収支は307,644,901円の黒字となっている。

次に、単年度収支を見ると、本年度実質収支額307,644,901円から前年度実質収支額310,102,328円を差引くと2,457,427円の赤字となっている。

最近3ヵ年の決算状況は、次表のとおりである。

決 算 状 況 比 較 表

(単位：千円)

| 区 分          | 令和6年度     | 令和5年度     | 令和4年度     |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 歳 入 総 額      | 9,170,602 | 9,286,928 | 9,829,862 |
| 歳 出 総 額      | 8,862,958 | 8,976,826 | 9,535,625 |
| 歳入歳出差引額      | 307,645   | 310,102   | 294,237   |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 0         | 0         | 0         |
| 実 質 収 支 額    | 307,645   | 310,102   | 294,237   |
| 単 年 度 収 支 額  | △2,457    | 15,865    | 42,537    |

### ア 歳入

歳入の決算額は9,170,602千円で、その主なものは国民健康保険料が1,602,435千円（構成比17.5%）、府支出金が6,307,300千円（構成比68.8%）となっている。

前年度と比較すると、主なもので繰越金が15,865千円（5.4%）増加したが、保険料が24,843千円（1.5%）、府支出金が111,493千円（1.7%）減少したことなどにより、歳入全体として116,326千円（1.3%）の減少となっている。

款別歳入決算額は、次表のとおりである。

款別歳入決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分        | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額      | 増減率     |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|---------|
|            | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |          |         |
| 1 国民健康保険料  | 1,602,435 | 17.5  | 1,627,278 | 17.5  | △24,843  | △1.5    |
| 2 一部負担金    | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —       |
| 3 使用料及び手数料 | 2         | 0.0   | 2         | 0.0   | △1       | △32.1   |
| 4 府支出金     | 6,307,300 | 68.8  | 6,418,793 | 69.1  | △111,493 | △1.7    |
| 5 繰入金      | 929,853   | 10.1  | 931,852   | 10.0  | △1,999   | △0.2    |
| 6 繰越金      | 310,102   | 3.4   | 294,237   | 3.2   | 15,865   | 5.4     |
| 7 諸収入      | 12,434    | 0.1   | 14,460    | 0.2   | △2,026   | △14.0   |
| 8 国庫支出金    | 8,477     | 0.1   | 306       | 0.0   | 8,171    | 2,670.3 |
| 合 計        | 9,170,602 | 100.0 | 9,286,928 | 100.0 | △116,326 | △1.3    |

国民健康保険料の収納状況は、次表のとおりである。

国民健康保険料収納状況比較表

(単位：千円・%)

| 区 分       | 令和6年度     | 令和5年度     | 増減額     | 増減率   |
|-----------|-----------|-----------|---------|-------|
| 調 定 額     | 2,145,678 | 2,172,059 | △26,381 | △1.2  |
| 収 入 済 額   | 1,602,435 | 1,627,278 | △24,843 | △1.5  |
| 不 納 欠 損 額 | 59,862    | 21,400    | 38,462  | 179.7 |
| 収 入 未 済 額 | 483,381   | 523,381   | △40,000 | △7.6  |

国民健康保険料の収入済額は1,602,435千円で、前年度と比較すると24,843千円(1.5%)減少し、調定額に対する割合は74.7%で0.2ポイント減少している。

不納欠損額は59,862千円で、前年度と比較すると38,462千円(179.7%)増加している。

収入未済額は483,381千円で、前年度と比較すると40,000千円(7.6%)減少している。

イ 歳出

歳出の決算額は8,862,958千円で、その主なものは保険給付費が6,189,580千円(構成比69.8%)、国民健康保険事業費納付金が2,421,933千円(構成比27.3%)となっている。

前年度と比較すると、主なもので保険給付費が66,941千円(1.1%)、国民健康保険事業費納付金が64,184千円(2.6%)、基金積立金が10,000千円(100.0%)減少したことなどにより、歳出全体として113,869千円(1.3%)の減少となっている。

予算現額に対する執行比率は88.0%で、1.5ポイント減少している。

款別歳出決算額は、次表のとおりである。

款 別 歳 出 決 算 額 比 較 表

(単位：千円・%)

| 区 分             | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額      | 増減率    |
|-----------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|--------|
|                 | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |          |        |
| 1 総 務 費         | 174,990   | 2.0   | 150,066   | 1.7   | 24,924   | 16.6   |
| 2 保 険 給 付 費     | 6,189,580 | 69.8  | 6,256,521 | 69.7  | △66,941  | △1.1   |
| 3 国民健康保険事業費納付金  | 2,421,933 | 27.3  | 2,486,117 | 27.7  | △64,184  | △2.6   |
| 4 共 同 事 業 抛 出 金 | 0         | —     | 0         | 0.0   | 0        | △100.0 |
| 5 保 健 事 業 費     | 66,591    | 0.8   | 65,499    | 0.7   | 1,092    | 1.7    |
| 6 基 金 積 立 金     | 0         | —     | 10,000    | 0.1   | △10,000  | △100.0 |
| 7 公 債 費         | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —      |
| 8 諸 支 出 金       | 9,864     | 0.1   | 8,624     | 0.1   | 1,240    | 14.4   |
| 9 予 備 費         | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —      |
| 合 計             | 8,862,958 | 100.0 | 8,976,826 | 100.0 | △113,869 | △1.3   |

### (3) 財産区特別会計

本年度の歳入歳出決算額は、

|             |              |
|-------------|--------------|
| 予 算 現 額     | 949,136,000円 |
| 歳 入 決 算 額   | 934,130,803円 |
| 歳 出 決 算 額   | 32,695,028円  |
| 歳入歳出差引額     | 901,435,775円 |
| 翌年度へ繰越すべき財源 | 0円           |
| 実 質 収 支 額   | 901,435,775円 |

で、実質収支は901,435,775円の黒字となっている。

次に、単年度収支を見ると、本年度実質収支額901,435,775円から前年度実質収支額921,015,301円を差引くと19,579,526円の赤字となっている。

最近3ヵ年の決算状況は、次表のとおりである。

決 算 状 況 比 較 表

(単位：千円)

| 区 分          | 令和6年度   | 令和5年度   | 令和4年度   |
|--------------|---------|---------|---------|
| 歳 入 総 額      | 934,131 | 949,576 | 981,017 |
| 歳 出 総 額      | 32,695  | 28,561  | 44,655  |
| 歳入歳出差引額      | 901,436 | 921,015 | 936,362 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 0       | 0       | 0       |
| 実 質 収 支 額    | 901,436 | 921,015 | 936,362 |
| 単 年 度 収 支 額  | △19,580 | △15,346 | 25,822  |

#### ア 歳入

歳入の決算額は934,131千円で、財産収入が12,014千円(構成比1.3%)、繰越金が921,015千円(構成比98.6%)、諸収入が1,102千円(構成比0.1%)となっている。

前年度と比較すると、諸収入が682千円(162.2%)増加したが、財産収入が780千円(6.1%)、繰越金が15,346千円(1.6%)減少したことにより15,445千円(1.6%)の減少となっている。

款別歳入決算額は、次表のとおりである。

款別歳入決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分    | 令和6年度   |       | 令和5年度   |       | 増減額     | 増減率   |
|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
|        | 決算額     | 構成比   | 決算額     | 構成比   |         |       |
| 1 財産収入 | 12,014  | 1.3   | 12,794  | 1.3   | △780    | △6.1  |
| 2 繰越金  | 921,015 | 98.6  | 936,362 | 98.6  | △15,346 | △1.6  |
| 3 諸収入  | 1,102   | 0.1   | 420     | 0.0   | 682     | 162.2 |
| 合 計    | 934,131 | 100.0 | 949,576 | 100.0 | △15,445 | △1.6  |

イ 歳出

歳出の決算額は 32,695 千円で、前年度と比較すると 4,134 千円 (14.5%) の増加となっている。

款別歳出決算額は、次表のとおりである。

款別歳出決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分   | 令和6年度  |       | 令和5年度  |       | 増減額   | 増減率  |
|-------|--------|-------|--------|-------|-------|------|
|       | 決算額    | 構成比   | 決算額    | 構成比   |       |      |
| 1 総務費 | 32,695 | 100.0 | 28,561 | 100.0 | 4,134 | 14.5 |
| 2 予備費 | 0      | —     | 0      | —     | 0     | —    |
| 合 計   | 32,695 | 100.0 | 28,561 | 100.0 | 4,134 | 14.5 |

#### (4) 介護保険事業特別会計

本年度の歳入歳出決算額は、

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 予 算 現 額       | 8, 5 5 2, 3 0 8, 0 0 0 円 |
| 歳 入 決 算 額     | 8, 3 5 6, 4 3 3, 1 1 6 円 |
| 歳 出 決 算 額     | 8, 3 1 4, 7 3 0, 7 9 5 円 |
| 歳 入 歳 出 差 引 額 | 4 1, 7 0 2, 3 2 1 円      |
| 翌年度へ繰越すべき財源   | 0 円                      |
| 実 質 収 支 額     | 4 1, 7 0 2, 3 2 1 円      |

で、実質収支は 41,702,321 円の黒字となっている。

次に、単年度収支を見ると、本年度実質収支額 41,702,321 円から前年度実質収支額 21,064,422 円を差引くと 20,637,899 円の黒字となっている。

最近 3 ヶ年の決算状況は、次表のとおりである。

決 算 状 況 比 較 表

(単位：千円)

| 区 分           | 令和 6 年度   | 令和 5 年度   | 令和 4 年度   |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 歳 入 総 額       | 8,356,433 | 8,056,194 | 7,803,883 |
| 歳 出 総 額       | 8,314,731 | 8,035,129 | 7,691,301 |
| 歳 入 歳 出 差 引 額 | 41,702    | 21,064    | 112,582   |
| 翌年度へ繰り越すべき財源  | 0         | 0         | 0         |
| 実 質 収 支 額     | 41,702    | 21,064    | 112,582   |
| 単 年 度 収 支 額   | 20,638    | △91,517   | △107,107  |

##### ア 歳入

歳入の決算額は 8,356,433 千円で、その主なものは保険料が 1,607,415 千円(構成比 19.2%)、国庫支出金が 2,040,338 千円(構成比 24.4%)、支払基金交付金が 2,216,144 千円(構成比 26.5%)、府支出金が 1,106,794 千円(構成比 13.2%)、繰入金が 1,364,195 千円(構成比 16.3%) などとなっている。

前年度と比較すると主なもので、繰越金が 91,517 千円(81.3%)減少したが、保険料が 111,388 千円(7.4%)、国庫支出金が 96,525 千円(5.0%)、支払基金交付金が 146,621 千円(7.1%)増加したことなどにより 300,239 千円(3.7%)の増加となっている。

款別歳入決算額は、次表のとおりである。

款別歳入決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分        | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額     | 増減率   |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|---------|-------|
|            | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |         |       |
| 1 保 険 料    | 1,607,415 | 19.2  | 1,496,027 | 18.6  | 111,388 | 7.4   |
| 2 使用料及び手数料 | 2         | 0.0   | 2         | 0.0   | 0       | 0.0   |
| 3 国庫支出金    | 2,040,338 | 24.4  | 1,943,813 | 24.1  | 96,525  | 5.0   |
| 4 支払基金交付金  | 2,216,144 | 26.5  | 2,069,523 | 25.7  | 146,621 | 7.1   |
| 5 府 支 出 金  | 1,106,794 | 13.2  | 1,065,168 | 13.2  | 41,625  | 3.9   |
| 6 財 産 収 入  | 0         | —     | 0         | —     | 0       | —     |
| 7 繰 入 金    | 1,364,195 | 16.3  | 1,367,775 | 17.0  | △3,580  | △0.3  |
| 8 繰 越 金    | 21,064    | 0.3   | 112,582   | 1.4   | △91,517 | △81.3 |
| 9 諸 収 入    | 482       | 0.0   | 1,304     | 0.0   | △822    | △63.1 |
| 合 計        | 8,356,433 | 100.0 | 8,056,194 | 100.0 | 300,239 | 3.7   |

介護保険料の収納状況は、次表のとおりである。

介護保険料収納状況比較表

(単位：千円・%)

| 区 分       | 令和6年度     | 令和5年度     | 増減額     | 増減率   |
|-----------|-----------|-----------|---------|-------|
| 調 定 額     | 1,630,146 | 1,521,249 | 108,897 | 7.2   |
| 収 入 済 額   | 1,607,415 | 1,496,027 | 111,388 | 7.5   |
| 不 納 欠 損 額 | 5,797     | 4,887     | 910     | 18.6  |
| 収 入 未 済 額 | 16,934    | 20,336    | △3,402  | △16.7 |

介護保険料の収入済額は1,607,415千円で、前年度と比較すると111,388千円(7.5%)増加し、調定額に対する割合は98.6%で0.3ポイント上昇している。

不納欠損額は5,797千円で、前年度と比較すると910千円(18.6%)増加している。

収入未済額は16,934千円で、前年度と比較すると3,402千円(16.7%)減少している。

イ 歳出

歳出の決算額は8,314,731千円で、その主なものは保険給付費が7,933,214千円(構成比95.4%)、地域支援事業費が177,168千円(構成比2.1%)などとなっている。

前年度と比較すると、主なもので地域支援事業費が140,998千円(44.3%)、基金積立金が34,979千円(65.0%)減少したが、保険給付費が474,034千円(6.4%)増加したことにより279,601千円(3.5%)の増加となっている。

予算現額に対する執行比率は97.2で、前年度と比較すると0.4ポイント減少している。

款別歳出決算額は、次表のとおりである。

款別歳出決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分         | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額      | 増減率   |
|-------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|-------|
|             | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |          |       |
| 1 総 務 費     | 139,228   | 1.7   | 148,651   | 1.9   | △9,423   | △6.3  |
| 2 保 険 給 付 費 | 7,933,214 | 95.4  | 7,459,180 | 92.8  | 474,034  | 6.4   |
| 3 地域支援事業費   | 177,168   | 2.1   | 318,166   | 4.0   | △140,998 | △44.3 |
| 4 基金積立金     | 18,823    | 0.2   | 53,802    | 0.7   | △34,979  | △65.0 |
| 5 公 債 費     | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —     |
| 6 諸 支 出 金   | 46,297    | 0.6   | 55,331    | 0.7   | △9,034   | △16.3 |
| 7 予 備 費     | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —     |
| 合 計         | 8,314,731 | 100.0 | 8,035,129 | 100.0 | 279,601  | 3.5   |

## (5) 後期高齢者医療事業特別会計

本年度の歳入歳出決算額は、

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 予 算 現 額       | 1, 5 0 4, 9 0 8, 0 0 0 円 |
| 歳 入 決 算 額     | 1, 5 0 6, 4 2 4, 7 8 3 円 |
| 歳 出 決 算 額     | 1, 4 4 4, 8 3 8, 8 4 9 円 |
| 歳 入 歳 出 差 引 額 | 6 1, 5 8 5, 9 3 4 円      |
| 翌年度へ繰越すべき財源   | 0 円                      |
| 実 質 収 支 額     | 6 1, 5 8 5, 9 3 4 円      |

で、実質収支は 61,585,934 円の黒字となっている。

次に単年度収支を見ると、本年度実質収支額 61,585,934 円から前年度実質収支額 44,811,110 円を差し引くと 16,774,824 円の黒字となっている。

最近 3 ヶ年の決算状況は、次表のとおりである。

決 算 状 況 比 較 表

(単位：千円)

| 区 分           | 令和 6 年度     | 令和 5 年度     | 令和 4 年度     |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 歳 入 総 額       | 1, 506, 425 | 1, 395, 435 | 1, 329, 112 |
| 歳 出 総 額       | 1, 444, 839 | 1, 350, 624 | 1, 261, 738 |
| 歳 入 歳 出 差 引 額 | 61, 586     | 44, 811     | 67, 374     |
| 翌年度へ繰り越すべき財源  | 0           | 0           | 0           |
| 実 質 収 支 額     | 61, 586     | 44, 811     | 67, 374     |
| 単 年 度 収 支 額   | 16, 775     | △22, 563    | 32, 076     |

### ア 歳入

歳入の決算額は 1,506,425 千円で、後期高齢者医療保険料が 1,118,060 千円(構成比 74.2%)、繰入金が 343,553 千円(構成比 22.8%)、諸収入が 1 千円(構成比 0.0%)、繰越金が 44,811 千円(構成比 3.0%)となっている。

前年度と比較すると、主なもので繰越金が 22,563 千円(33.5%)減少したものの、後期高齢者医療保険料が 107,298 千円(10.6%)、繰入金が 31,876 千円(10.2%)増加したことにより、110,990 千円(8.0%)の増加となっている。

款別歳入決算額は、次表のとおりである。

款別歳入決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分          | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額     | 増減率    |
|--------------|-----------|-------|-----------|-------|---------|--------|
|              | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |         |        |
| 1 後期高齢者医療保険料 | 1,118,060 | 74.2  | 1,010,763 | 72.4  | 107,298 | 10.6   |
| 2 使用料及び手数料   | 0         | —     | 0         | —     | 0       | —      |
| 3 繰 入 金      | 343,553   | 22.8  | 311,676   | 22.3  | 31,876  | 10.2   |
| 4 諸 収 入      | 1         | 0.0   | 5,622     | 0.4   | △5,621  | △100.0 |
| 5 繰 越 金      | 44,811    | 3.0   | 67,374    | 4.8   | △22,563 | △33.5  |
| 合 計          | 1,506,425 | 100.0 | 1,395,435 | 100.0 | 110,990 | 8.0    |

後期高齢者医療保険料の収納状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療保険料収納状況比較表

(単位：千円・%)

| 区 分       | 令和6年度     | 令和5年度     | 増減額     | 増減率   |
|-----------|-----------|-----------|---------|-------|
| 調 定 額     | 1,127,570 | 1,020,988 | 106,582 | 10.4  |
| 収 入 済 額   | 1,118,060 | 1,010,763 | 107,298 | 10.6  |
| 不 納 欠 損 額 | 586       | 976       | △390    | △40.0 |
| 収 入 未 済 額 | 8,923     | 9,249     | △326    | △3.5  |

後期高齢者医療保険料の収入済額は1,118,060千円で、前年度と比較すると107,298千円(10.6%)増加し、調定額に対する割合は99.2%で0.2ポイント上昇している。

不納欠損額は586千円で、前年度と比較すると390千円(40.0%)の減少となっている。

収入未済額は8,923千円で、前年度と比較すると326千円(3.5%)の減少となっている。

イ 歳出

歳出の決算額は1,444,839千円で、前年度と比較すると、保健事業費が11,602千円(100.0%)減少したが、後期高齢者医療広域連合納付金が106,745千円(8.2%)増加したことなどにより94,215千円(7.0%)の増加となっている。

予算現額に対する執行比率は96.0%で、前年度と比較すると1.4ポイント減少している。

款別歳出決算額は、次表のとおりである。

款別歳出決算額比較表

(単位：千円・%)

| 区 分                  | 令和6年度     |       | 令和5年度     |       | 増減額      | 増減率    |
|----------------------|-----------|-------|-----------|-------|----------|--------|
|                      | 決算額       | 構成比   | 決算額       | 構成比   |          |        |
| 1 総 務 費              | 30,150    | 2.1   | 31,222    | 2.3   | △1,071   | △3.4   |
| 2 後期高齢者医療<br>広域連合納付金 | 1,413,576 | 97.8  | 1,306,831 | 96.8  | 106,745  | 8.2    |
| 3 保 健 事 業 費          | 0         | —     | 11,602    | 0.9   | △ 11,602 | △100.0 |
| 4 諸 支 出 金            | 1,113     | 0.1   | 970       | 0.1   | 143      | 14.8   |
| 5 予 備 費              | 0         | —     | 0         | —     | 0        | —      |
| 合 計                  | 1,444,839 | 100.0 | 1,350,624 | 100.0 | 94,215   | 7.0    |

### 3 財産に関する調書について

#### (1) 公有財産

##### ① 土地及び建物

土地の年度末現在高は、行政財産 1,225,575.970 m<sup>2</sup>、普通財産 44,128.380 m<sup>2</sup>で合計 1,269,704.350 m<sup>2</sup>となっている。前年度末現在高と比較すると行政財産が 5,025.040 m<sup>2</sup>増加し、普通財産は増減がなかったため、全体では 5,025.040 m<sup>2</sup>増加した。

建物の年度末現在高は、行政財産 237,274.520 m<sup>2</sup>、普通財産 1,464.340 m<sup>2</sup>で合計 238,738.860 m<sup>2</sup>となっている。前年度末現在高と比較すると行政財産が 1,873.370 m<sup>2</sup>減少し、普通財産は増減がなかったため、全体では 1,873.370 m<sup>2</sup>減少した。

##### ② 無体財産権

1 件、本市イメージキャラクター・つげさんの商標権登録を行っている。

##### ③ 出資による権利

年度末現在高は、85,821 千円で、前年度末現在高と比較すると一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター出捐金が 74 千円減少となっている。

#### (2) 物品

購入単価が 100 万円以上の物品については、前年度末 305 から 5 増 3 減の 307 となっている。期間中に増減のあったものは次のとおりである。

増加 食器洗浄機 3→4 貨物(軽) 2→4 乗用車(軽) 6→8

減少 自動体外式除細動機 (AED) 5→4 ダンプ(軽) 5→4  
道路清掃車 1→0

#### (3) 債権

年度末現在高は 51,755 千円で、前年度末現在高と比較すると奨学資金貸付金が 2,373 千円の減少となっている。

#### (4) 基金

令和 7 年 3 月末現在高は 10,460,363 千円で、令和 6 年 3 月末現在高と比較すると 193,429 千円の増加となっている。

各基金の状況は、次表のとおりである。

基金の現在高

(単位：千円)

| 区 分                | 令和6年3月末<br>現在高 | 期中増減高    | 令和7年3月末<br>現在高 |
|--------------------|----------------|----------|----------------|
| 幼児教育図書整備基金         | 3,020          | △ 364    | 2,656          |
| 市立学校図書整備基金         | 3,221          | 1        | 3,222          |
| 市民文庫図書整備基金         | 4,623          | △ 950    | 3,673          |
| 消防本部図書整備基金         | 1,057          | 0        | 1,057          |
| 人権文庫図書整備基金         | 1,064          | △ 175    | 889            |
| 公共施設等整備基金          | 2,980,903      | 6,736    | 2,987,639      |
| 財政調整基金             | 4,275,133      | 124,274  | 4,399,407      |
| 交通安全対策基金           | 6,624          | 3        | 6,627          |
| 奨学資金基金             | 1,007          | 0        | 1,007          |
| かいづかふるさと応援基金       | 662,393        | △ 52,749 | 609,644        |
| 減債基金               | 188,831        | 131,282  | 320,113        |
| 地域福祉基金             | 249,943        | 308      | 250,251        |
| 市営墓地等整備基金          | 3,341          | 2        | 3,343          |
| 国民健康保険事業財政調整基金     | 670,000        | 0        | 670,000        |
| 花と緑の文化基金           | 7,493          | 2,801    | 10,294         |
| 善兵衛ランド基金           | 3,286          | 1        | 3,287          |
| 介護給付費準備基金          | 861,310        | △ 68,976 | 792,334        |
| バリアフリー基金           | 87,108         | △ 33,420 | 53,688         |
| 教育基金               | 21,169         | △ 12,627 | 8,542          |
| 安心・安全なまちづくり基金      | 17,711         | 67       | 17,778         |
| 健康づくり推進基金          | 517            | 199      | 716            |
| 地域公共交通活用促進基金       | 196,499        | 98       | 196,597        |
| 市立貝塚病院医療機器・施設等整備基金 | 590            | 10,240   | 10,830         |
| 森林環境譲与税基金          | 6,831          | △ 1,713  | 5,118          |
| 市営住宅基金             | 13,260         | 7        | 13,267         |
| 職員退職手当基金           | 0              | 67,124   | 67,124         |
| まち・ひと・しごと創生基金      | 0              | 21,260   | 21,260         |
| 合 計                | 10,266,934     | 193,429  | 10,460,363     |

## む す び

令和6年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況の審査概要は以下のとおりである。

### 《 一般会計 》

一般会計の歳入額を前年度比較で見ると、まず市税では固定資産税が33,967千円増加したものの、市民税が93,391千円、市たばこ税が15,153千円、それぞれ減少したことなどにより72,002千円減少し、11,373,282千円となった。また、繰越金が159,092千円、市債が905,831千円、それぞれ減少したものの、地方特例交付金が356,427千円、地方交付税が504,121千円、子どものための教育・保育給付費、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増加などにより国庫支出金が378,235千円、それぞれ増加したことなどにより、全体では769,352千円(2.1%)の増加となっている。

財源別で見ると、自主財源では、分担金及び負担金・寄附金などが増加したものの、市税が72,002千円の減少となるなど、前年度比で8,883千円(0.1%)の微減となっている。依存財源では、地方交付税や国庫支出金の増加などにより前年度比778,234千円(3.5%)の増加となっている。歳入における自主財源と依存財源の比率は、自主財源が38.5%、依存財源が61.5%となり、前年度と比べ自主財源の比率が0.8ポイント減少している。

一方、歳出額を前年度比較で見ると、岸和田市貝塚市斎場整備事業が566,540千円減少となるなど衛生費で870,580千円、プレミアム商品券市民配布事業が200,208千円皆減となるなど商工費で122,212千円、東貝塚駅前広場アクセス道路等整備事業が285,412千円皆減となるなど土木費で438,991千円、それぞれ減少したものの、定額減税補足給付金事業が597,795千円皆増となるなど総務費で1,026,852千円、物価高騰対策給付金事業が335,969千円皆増となるなど民生費で1,158,927千円、公債費で155,160千円、それぞれ増加したことなどにより、全体では946,495千円(2.6%)の増加となっている。

また、不用額の大きなものとしては、民生費で977,005千円、衛生費で445,126千円、土木費で446,260千円が生じている。この主なものは、民生費では住民税非課税世帯支援給付金事業(追加支給分)(繰越明許)で105,243千円、低所得世帯支援給付金事業で141,943千円、衛生費では予防接種事業で127,812千円、岸和田市貝塚市清掃施設組合負担金事業で230,205千円、土木費では二色浜駅前広場等整備事業で163,377千円、橋梁新設改良事業で73,065千円などとなっている。

また、繰越明許費繰越額は139,745千円で前年度と比べ53,656千円増加している。

以上の結果、実質収支は11,679千円の黒字、単年度収支は230,799千円の赤字となっている。

財政指標は、前年度と比較すると、実質収支比率が1.2ポイント悪化し0.1%、公債費負担比率が0.2ポイント悪化し11.6%、財政力指数が前年度と同様で0.63、経常収支比率が0.7ポイント悪化し99.1%となった。

財政調整基金外24基金の積立基金残高については、令和6年3月末と令和7年3月末を比較すると262,405千円の増加となっているが、出納閉鎖時点における令和7年5月末の基金残高は8,981,014千円である。

基金の運用については、基金の積立金を一般会計等の歳計現金に繰替えて運用することにより、年間を通して資金不足の解消が図られている。

年度末の起債現在高は、前年度より1,661,600千円減少し、30,070,420千円となっている。

## 《 特別会計 》

国民健康保険事業特別会計は、実質収支で 307,645 千円の黒字、単年度収支では 2,457 千円の赤字となっている。令和 6 年度末における被保険者世帯数及び被保険者数は、国民健康保険から後期高齢者医療へ移行する人数の増加などに伴い、前年度と比較して被保険者世帯数で 300 世帯、被保険者数で 656 人の減少となるなど、年々減少傾向にある。

財産区特別会計は、実質収支で 901,436 千円の黒字、単年度収支では 19,580 千円の赤字となっている。

介護保険事業特別会計は、実質収支で 41,702 千円の黒字、単年度収支では 20,638 千円の黒字となっている。被保険者数及び要介護認定者数の増加に伴い、保険給付費は大きく増加しており、歳入、歳出ともに年々増加傾向にある。

後期高齢者医療事業特別会計は、実質収支で 61,586 千円の黒字、単年度収支では 16,775 千円の黒字となっている。令和 6 年度末における被保険者数は 12,960 人となり、前年度と比較し 255 人の増加となっており、本市人口の 16.0%（前年度 15.5%）を占めている。

最後に、令和 6 年度一般会計決算における歳入総額は、地方特例交付金や地方交付税の増加により、昨年度と比較して 769,352 千円の増となった。一方で、歳出総額は、総務費及び民生費の大幅な増加を主因として、昨年度より 946,495 千円増加している。その結果、実質収支は 11,679 千円の黒字となったものの、前年度からは 230,799 千円の大幅な減少となっている。また財政指標では、経常収支比率が昨年度と比較して 0.7 ポイント悪化し、99.1%となっている。歳入増があったものの、それを上回る歳出増により実質収支が大幅に減少していることは、憂慮すべき事態である。特に、経常収支比率は依然として高水準にあり、財政構造の硬直化が進んでいる状況も看過できない。

令和 7 年度から三館等合同施設整備事業及び岸和田市貝塚市斎場整備事業の本格化に加えて、人件費についても増加が予想され、実質収支はさらに厳しくなると見込まれる。このような状況下で、将来にわたり安定した財政運営を行うため、歳入の確保は喫緊の課題である。企業誘致の推進により、法人市民税をはじめとする税収の確保に努めるとともに、税外収入のさらなる増加を図るべく、特にふるさと納税の強化に努められたい。新たな取組みである本市の特色を活かした現地消費型の返礼品には、寄付額の増加のみならず、まちの賑わいを創出し地域の活性化にも繋がるものとして、今年度立ち上げた「ふるさと納税推進プロジェクトチーム」には、部署横断的な市職員の創意工夫による寄付額の向上に資する取組みとして、大いに期待している。

また、今後の南海貝塚駅及び二色浜駅の周辺整備については、駅利用者の利便性の向上のみならず、定住人口の増加やまちの賑わいの創出に寄与する事業展開とされることを強く望むところである。